

平成 19 年 3 月 23 日

各会員代表者（学長）各位

（社）国立大学協会

会長 相 澤 益 男

国立大学を巡る最近の諸情勢に関して（お願い）

去る 3 月の本協会総会においては、経済財政諮問会議における民間議員提案「成長力強化のための大学・大学院改革について」（別添 1）を一つの材料として、運営費交付金や今後の国立大学の在り方等をめぐって活発な意見交換が行われました。

その後 3 月 20 日には、文部科学省高等教育局が経済財政諮問会議の民間議員ヒヤリングに臨み、「基盤的経費と競争的資金の適切な組み合わせによる財政支援の必要性」（別添 2）及び「大学・大学院改革への取り組み」（別添 3）の資料を使いながら運営費交付金の性格や実態、大学改革等について説明をされました。その状況は、「ヒヤリングの概要」（別添 4, 5）のとおりと伺っております。

本協会としては、近日中に拡大常任理事会や 4 月 11 日に拡大政策会議を開催し、協会としての対応を検討し実行することとしております。しかし、最近の国立大学法人をめぐる諸情勢は、予断を許さないところがあります。

つきましては、各学長におかれては、先日の総会での議論や今回お送りした資料などを参考にさせていただいて、経済財政諮問会議の動き等に対する国立大学法人の立場からの意見等を、地元新聞に投稿していただいたり、各大学の経営協議会のメンバーの財界関係者や地元国会議員などに説明し理解とご支持をいただくなど、それぞれのお気持ちを率直に訴えていただき、国立大学法人としての意見が全国で沸き上がるような活動を是非とも展開していただきたく、存じます。

本協会としても、政府の幅広い議論を見極めつつ、実効ある対応をとる覚悟であり、各学長のご協力をよろしくお願い申し上げます。